

2013年11月土曜閉所強調月間

アンケート結果特集！！



道建労協加盟単組組合員の皆さまには、いつも弊協議会の活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、恒例となっております11月の土曜閉所ですが、ようやくまとまりましたので、ここに発表させていただきます。

今回からは皆さんご存知のとおり、一般社団法人日本道路建設業協会が後援に加わっていただきました。つまり、このことによってこの土曜閉所運動が、業界として、労使一体としての取り組みであることが示されたこととなります。さらに連携を深めて取り組んでいきますので、改めて皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今回の土曜閉所運動における建設産労懇共通のスローガンは、

『自分で行動 「休む勇氣」 みんなで考え 「休める職場」 』

でした。業界としてもかなり動きだしました。これからは取り組む私たちの責任も非常に大きくなります。もちろん各企業の取り組みも大事な要因ですが、それを突き動かすのは私たちです。成果を見せるのも、修正を必要とさせるのも私たちの取り組み次第です。そろそろ「何も変わらない」、から「何かを変えてやろう」にチャレンジしませんか？

今回は回収率 89.3%（組合員に対して、対前年比▲0.6ポイント）となり、引き続き高い数値を示しました。前回は申し上げましたが、このような高い回収率を基にしたデータは説得力があります。皆様のご協力に感謝いたします。

単組別回答	事業所数	組合員数	回収率	総組合員数	地域別回答事業所数	
					地域	組合員数
大林道路	94	766	92.8%	825	北海道	222
大成ロテック	83	538	77.7%	692	東北	535
東京舗装	17	60	82.2%	73	関東	1,945
NIPPO	390	1,214	85.4%	1,422	中部	462
フジタ道路	69	146	96.7%	151	関西	419
前田道路	219	1,526	94.1%	1,622	中国	313
三井住建	73	249	98.0%	254	九州	341
合計	945	4,499	89.3%	5,039	北陸	154
					四国	108
					全国	4,499

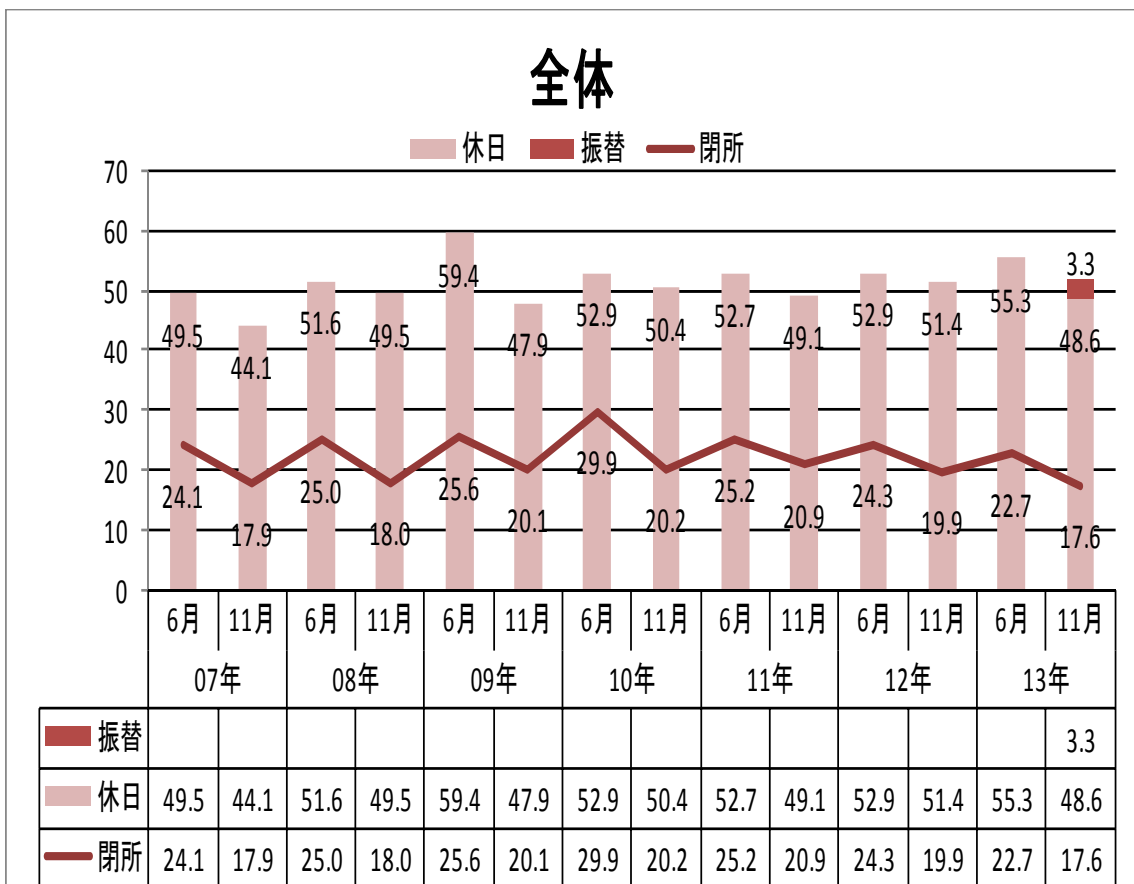
回収率推移(11月)

単位：%

回収率	大林	大成	東舗	NIPPO	フジタ	前田	三住	合計
2009	99.4	85.0	88.0	59.8	85.5	90.9	97.6	81.4
2010	97.6	91.6	85.0	65.1	88.9	84.1	92.3	81.8
2011	94.0	85.7	73.4	88.0	97.0	86.0	96.5	88.5
2012	91.0	80.2	77.6	95.5	93.6	87.7	97.6	89.9
2013	92.8	77.7	82.2	85.4	96.7	94.1	98.0	89.3

事業所形態	構成比	大林	大成	東舗	NIPPO	フジタ	前田	三住	
営業所・出張所 (営業機能あり)	368	38.9%	41	47	7	145	2	101	25
出張所・作業所 (営業機能なし)	18	1.9%	4	4	1	0	0	5	4
作業所 (単独工事)	134	14.2%	3	3	3	46	57	4	18
合材工場 乳剤工場	284	30.1%	33	22	5	113	0	93	18
本・支店等内勤	135	14.3%	9	7	1	86	10	14	8
その他	6	0.6%	4	0	0	0	0	2	0
合計	945	100.0%	94	83	17	390	69	219	73

●全体の数値



単組別事業所閉所率(全体)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	事業所数	平均
大林	14.9%	18.1%	17.0%	14.9%	14.9%	94	16.0%
大成	4.8%	8.4%	4.8%	8.4%	6.0%	83	6.5%
東舗	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	11.8%	17	3.5%
NIPPO	16.7%	20.0%	15.7%	19.0%	18.7%	390	18.0%
フジタ	27.5%	30.4%	31.9%	36.2%	26.1%	69	30.4%
前田	5.9%	6.4%	3.7%	6.0%	5.9%	219	5.6%
三住	56.2%	65.8%	53.4%	60.3%	49.3%	73	57.0%
全社	16.5%	19.7%	15.9%	18.8%	17.0%	945	17.6%

地域別事業所閉所率(全体)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	事業所数	平均
北海道	13.7%	15.1%	23.3%	17.8%	19.2%	73	19.5%
東北	21.2%	25.4%	13.6%	19.5%	17.8%	118	18.3%
関東	5.4%	17.9%	17.2%	18.3%	16.8%	279	17.7%
中部	4.2%	18.9%	14.7%	18.9%	14.7%	95	16.2%
関西	18.1%	17.0%	13.8%	16.0%	16.0%	94	16.6%
中国	21.2%	19.2%	16.2%	17.2%	19.2%	99	16.8%
九州	21.5%	26.2%	15.0%	22.4%	15.9%	107	19.3%
北陸	10.4%	10.4%	8.3%	8.3%	16.7%	48	10.4%
四国	6.3%	25.0%	18.8%	31.3%	12.5%	32	20.6%
全国	16.5%	19.7%	15.9%	18.8%	17.0%	945	17.6%

単組別休日取得率(全体)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	組員数	平均	振休加算	振替率
大林	44.4%	44.5%	47.1%	50.9%	40.5%	766	46.9%	48.1%	2.2%
大成	38.8%	38.1%	38.3%	46.7%	37.2%	538	40.5%	43.2%	4.4%
東舗	13.3%	28.3%	23.3%	31.7%	20.0%	60	25.3%	25.3%	0.0%
NIPPO	47.9%	51.2%	50.1%	52.3%	30.6%	1,214	50.4%	53.6%	6.5%
フジタ	39.0%	44.5%	40.4%	41.1%	29.5%	146	40.3%	40.3%	0.0%
前田	35.2%	54.9%	50.7%	55.8%	42.0%	1,526	49.0%	53.8%	9.5%
三住	67.9%	78.3%	68.3%	73.9%	65.0%	249	71.0%	75.9%	16.9%
全社	42.3%	50.7%	48.7%	53.1%	38.9%	4,499	48.6%	51.9%	5.6%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した割合

地域別組員休日取得率(全体)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	組員数	平均	振休加算
北海道	30.6%	35.1%	41.4%	40.5%	38.3%	222	37.2%	37.4%
東北	39.8%	48.4%	40.0%	49.3%	41.9%	535	43.9%	44.6%
関東	47.4%	54.3%	53.7%	57.0%	52.9%	1,945	53.0%	54.1%
中部	35.9%	53.2%	50.2%	51.1%	46.1%	462	47.3%	47.3%
関西	42.0%	43.4%	50.1%	54.4%	50.8%	419	48.2%	48.9%
中国	45.4%	57.8%	55.9%	56.5%	52.7%	313	53.7%	53.7%
九州	44.9%	50.1%	44.9%	55.1%	47.8%	341	48.6%	48.7%
北陸	33.8%	54.5%	39.0%	44.2%	37.0%	154	41.7%	41.9%
四国	41.7%	62.0%	44.4%	63.9%	51.9%	108	52.8%	52.8%
全国	42.3%	50.7%	48.7%	53.1%	38.9%	4,499	48.6%	51.9%

今回から休日取得率においては、振替休日の取得も統計に含むようにしました。

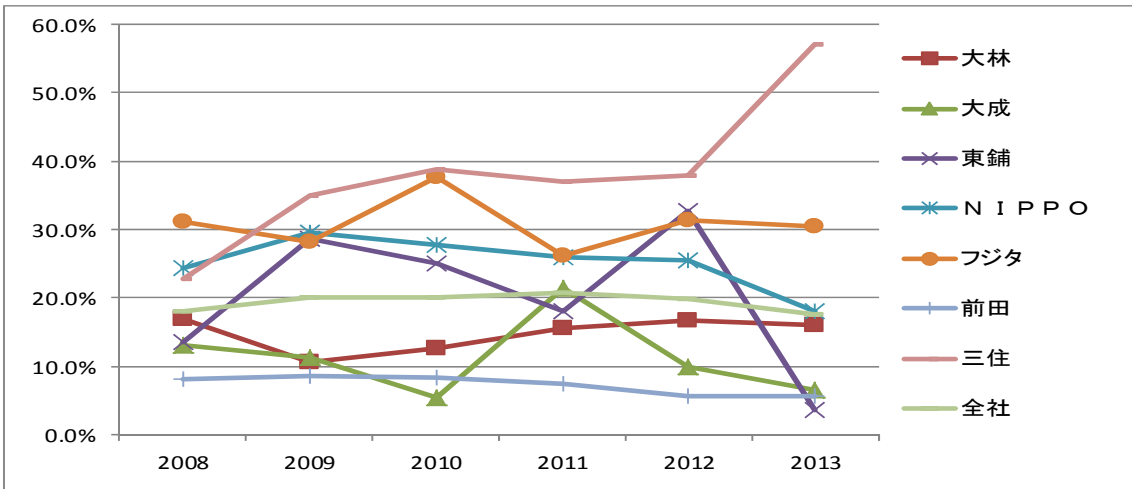
結果からみると、閉所率は17.6%と前回11月よりも2.3ポイント下がりました。休日取得率については、暦通り休日取得出来た組合員は48.6%（前年同月比▲2.8%）、振替休日を取得できた組合員を含めた休日取得率は51.9%（3.3%上乗せ、前年同月比+0.5%）となりました。また、土曜日出勤をして振替休日を取得出来た方の率は5.6%という、低い数値が出ました。これを見ると、土曜日に休日を取得できなかった方が振替休日を取る環境がないことがわかります。振替休日が取りづらい原因となっていることは何か、単なる忙しさだけでは片づけられない問題です。

各単組別に見ますと、閉所率で10%にも満たないのは、大成ロテック・東京舗装工業・前田道路の3単組、10%台は大林道路・NIPPPOの2単組という結果でした。組合員の多いNIPPPOと前田道路が低い数値だと、いつも高い数値を出している三井住建道路の頑張りがなかなか全体的な数値として反映されないのは残念です。一方休日取得で見ると、閉所より休日取得へ少し力点を置いている現状としては、各単組ともこちらの数値がもう少し上がってくると良いのですが、大した変動はありません。それぞれで見ると、東京舗装工業の数値が目立って低くなっており、前述のNIPPPO・前田道路は約半数が休日を取得出来ているという結果となっています。振替をとった組合員の数はどの単組も低く、特に東京舗装工業・フジタ道路はゼロであり、その他の単組も10%を下回る結果となっています。企業は労組とともに対策を早急に打つ必要があるのではないのでしょうか。

各週では、昨年より始めた「統一土曜閉所日」で指定した11月9日つまり第2土曜日が他の週より僅かながら高く数値が示されたのは、少し胸をなでおろすところです。確かに第2土曜日については道建協も指定していますし、第2土曜日の閉所にプライオリティを置いて下さった企業もあるとのことですので、その取組に対して少しとは言え反応があったということなのかもしれません。休日取得においては第4週が祝日だったこともあり、第2土曜日の取得率は2番手となっていますが、多少は「第2土曜日は休む日」という認識が出来たのではないのでしょうか。

地域別では、繁忙期である東北地区の第2土曜日閉所率が、九州、四国地域と変わらぬ数値となっています。前回6月の結果を公表したときに道建協東北支部や日合協東北連合会の取り組みをご紹介しましたが、今回もその取り組みが展開され、程度はわかりませんが結果として出たのではないのでしょうか。繁忙期である北陸地区は数値が低くなるのはある程度想定済みではありますが、どの地域も似たり寄ったりの結果となった原因が、仕事量が増えてきたことや人員不足の面だけに求められるのであれば、業界としても企業としても組合としても努力不足だったと反省をしなければいけないでしょう。

<単組別閉所率推移>



11月 単組別閉所率推移 (全体)

単位: %

単組	2008	2009	2010	2011	2012	2013
大林	17.0%	10.7%	12.6%	15.7%	16.8%	16.0%
大成	13.1%	11.4%	5.4%	21.4%	10.1%	6.5%
東舗	13.5%	28.7%	25.0%	18.1%	32.8%	3.5%
NIPPPO	24.4%	29.6%	27.7%	25.9%	25.5%	18.0%
フジタ	31.3%	28.3%	37.7%	26.1%	31.4%	30.4%
前田	8.1%	8.5%	8.4%	8.4%	7.4%	5.6%
三住	22.7%	35.0%	38.8%	37.1%	38.0%	57.0%
全社	18.0%	20.1%	20.2%	20.9%	19.9%	17.6%

<単組別休日取得率推移>



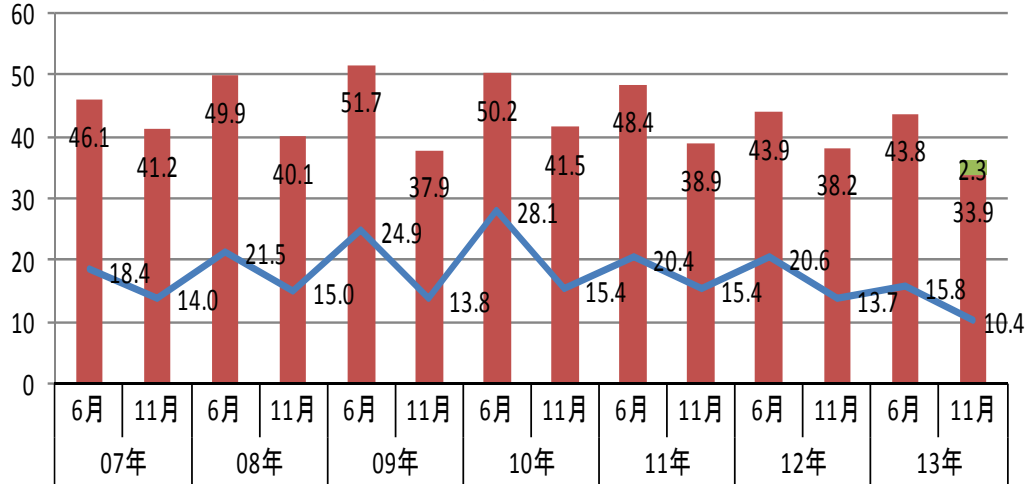
11月 単組別休日取得率推移 (全体)

単位: %

単組	2008	2009	2010	2011	2012	2013
大林	56.0%	45.7%	49.0%	48.1%	48.1%	46.9%
大成	44.2%	45.3%	44.6%	48.1%	45.0%	40.5%
東舗	29.9%	46.2%	46.3%	36.2%	45.8%	25.3%
NIPPPO	59.6%	60.4%	53.9%	53.5%	58.8%	50.4%
フジタ	49.1%	41.7%	52.1%	39.7%	48.6%	40.3%
前田	43.0%	40.8%	48.9%	44.6%	46.7%	49.0%
三住	44.4%	53.4%	64.3%	63.2%	63.9%	71.0%
全社	49.5%	47.9%	50.4%	49.1%	51.4%	48.6%

# 工事部門

■ 休日 ■ 振替 — 閉所



振替														2.3
休日	46.1	41.2	49.9	40.1	51.7	37.9	50.2	41.5	48.4	38.9	43.9	38.2	43.8	33.9
閉所	18.4	14.0	21.5	15.0	24.9	13.8	28.1	15.4	20.4	15.4	20.6	13.7	15.8	10.4

## 単組別事業所閉所率(工事)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	事業所数	平均
大林	4.2%	4.2%	4.2%	2.1%	2.1%	48	3.3%
大成	3.7%	3.7%	3.7%	5.6%	3.7%	54	4.1%
東鋪	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	11	5.5%
NIPPO	5.8%	9.4%	5.8%	7.9%	6.3%	191	7.0%
フジタ	15.3%	18.6%	20.3%	25.4%	16.9%	59	19.3%
前田	1.8%	3.6%	1.8%	0.0%	1.8%	110	1.8%
三住	46.8%	59.6%	48.9%	46.8%	42.6%	47	48.9%
全社	9.2%	12.7%	10.0%	10.8%	9.4%	520	10.4%

## 地域別事業所閉所率(工事)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	事業所数	平均
北海道	9.5%	7.1%	11.9%	4.8%	7.1%	42	8.3%
東北	13.2%	16.2%	13.2%	14.7%	14.7%	68	14.3%
関東	5.7%	10.7%	8.8%	9.4%	6.9%	159	8.6%
中部	9.6%	13.5%	9.6%	13.5%	7.7%	52	11.5%
関西	20.8%	18.9%	13.2%	15.1%	15.1%	53	17.0%
中国	5.8%	5.8%	5.8%	7.7%	11.5%	52	6.3%
九州	11.8%	23.5%	9.8%	15.7%	9.8%	51	15.2%
北陸	0.0%	8.0%	8.0%	4.0%	4.0%	25	5.0%
四国	5.6%	5.6%	11.1%	5.6%	5.6%	18	6.9%
全国	9.2%	12.7%	10.0%	10.8%	9.4%	520	10.4%

### 単組別休日取得率(工事)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	組合員数	平均	振休加算	振替取得
大林	32.9%	31.5%	35.0%	40.5%	35.8%	511	35.1%	36.0%	1.4%
大成	29.1%	27.9%	29.9%	37.2%	32.4%	398	31.3%	33.7%	3.4%
東鋪	6.7%	17.8%	11.1%	20.0%	22.2%	45	15.6%	15.6%	0.0%
NIPPO	25.8%	30.0%	28.5%	30.6%	27.7%	664	28.5%	31.1%	3.6%
フジタ	27.0%	33.6%	28.7%	29.5%	26.2%	122	29.0%	29.0%	0.0%
前田	15.6%	42.1%	35.8%	42.0%	33.2%	850	33.7%	36.8%	4.6%
三住	62.1%	72.3%	63.3%	65.0%	61.6%	177	64.9%	69.2%	12.2%
全社	26.5%	36.4%	34.1%	38.9%	33.6%	2,767	33.9%	36.2%	3.5%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した割合

### 地域別組合員休日取得率(工事)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	組合員数	平均	振休加算	振替取得
北海道	14.7%	19.9%	25.6%	25.0%	25.6%	156	22.2%	22.2%	0.0%
東北	34.9%	41.3%	33.1%	41.9%	34.6%	387	37.2%	39.2%	3.2%
関東	23.4%	33.0%	33.0%	36.1%	31.5%	1,097	31.4%	34.2%	4.1%
中部	23.5%	39.5%	37.1%	39.1%	33.7%	294	34.6%	35.9%	2.0%
関西	27.0%	32.7%	38.0%	44.5%	38.0%	263	36.0%	38.2%	3.3%
中国	28.6%	40.7%	38.6%	41.8%	37.0%	189	37.4%	39.7%	3.7%
九州	35.6%	38.1%	35.1%	44.1%	37.6%	202	38.1%	41.9%	6.1%
北陸	26.9%	49.1%	29.6%	36.1%	25.9%	108	33.5%	36.3%	4.2%
四国	31.0%	57.7%	36.6%	52.1%	47.9%	71	45.1%	47.9%	5.1%
全国	26.5%	36.4%	34.1%	38.9%	33.6%	2,767	33.9%	36.2%	3.5%

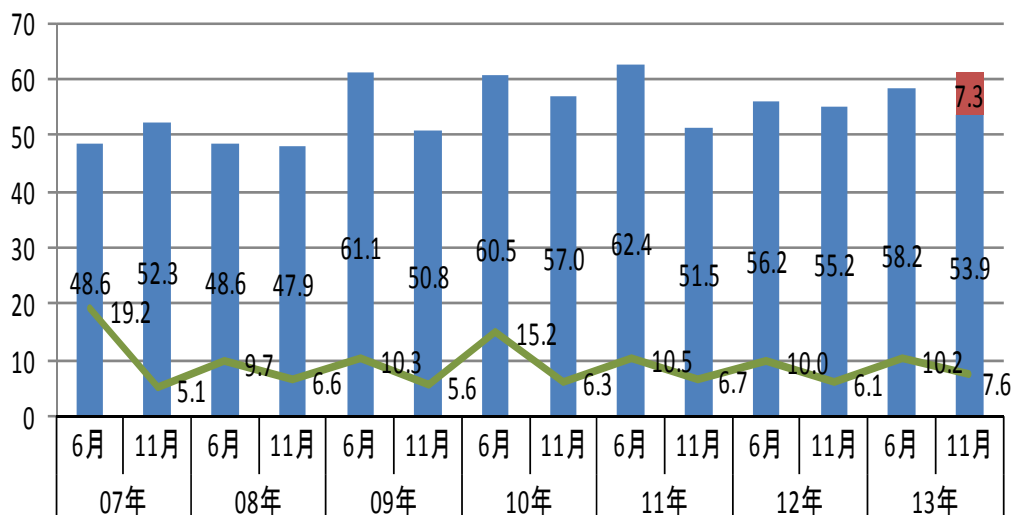
振替率は休めなかった人が振替休日を取得した率

とりあえずの印象として、東北地区、関西地区、それと九州地区における閉所率が比較的其他の地域よりも高い数値が出ていること、ところが休日取得率を見たときに、それぞれの地域の数値が高いかといえばそうでもないこと。このあたりの理由がつかみ切れていません。とはいえ、休日取得で東北地区が一番高い数値を示したことは、やはり地域で業界と各企業が一体となって取り組んだ結果だと思いたいところであります。関西地区はもともと閉所率が低く休日取得率も中位あたりでしたが、今回は閉所率が上がってきています。具体的に何かに取り組んだということは聞いていませんので、どのような環境下にあったのかを確認・検証し、次回につなげていかなければいけません。

わかりやすい特徴として、各企業・組合とも振替休日の取得率がとても低いことがあげられます。以前より「振替休日など取れるわけがない」という声が聞こえていなかった訳ではありませんが、このような土曜閉所運動や休日取得に向けた活動が、業界あげての取り組みになりつつある、なっている現状において、振替休日の取得という選択肢が最初から半ば消されているようなことになっていては、結果を伴う訳がありません。工程の調整や得意先への説明等、やれることはやったが取れなかった、次回は何とかやってみよう、こういうことであれば先へ進むはずですが、企業も組合員もその気がなければ遅々としてこの現状の改善は見えません。いつまでもお互いに不満を言うだけです。

## 製品部門

■ 休日 ■ 振替 ■ 閉所



振替															7.3
休日	48.6	52.3	48.6	47.9	61.1	50.8	60.5	57.0	62.4	51.5	56.2	55.2	58.2	53.9	
閉所	19.2	5.1	9.7	6.6	10.3	5.6	15.2	6.3	10.5	6.7	10.0	6.1	10.2	7.6	

### 単組別事業所閉所率(合材)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	事業所数	平均
大林	9.1%	15.2%	12.1%	12.1%	12.1%	33	12.1%
大成	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	22	0.9%
東鋪	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5	0.0%
NIPPO	0.9%	10.6%	1.8%	8.0%	3.5%	113	5.0%
前田	0.0%	1.1%	0.0%	3.2%	0.0%	93	0.9%
三住	66.7%	66.7%	50.0%	77.8%	44.4%	18	61.1%
全社	5.6%	10.9%	5.3%	10.6%	5.6%	284	7.6%

### 地域別事業所閉所率(合材)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	事業所数	平均
北海道	19.0%	14.3%	19.0%	19.0%	9.5%	21	17.9%
東北	0.0%	22.9%	0.0%	5.7%	0.0%	35	7.1%
関東	3.1%	0.0%	3.1%	1.5%	3.1%	65	1.9%
中部	0.0%	3.3%	0.0%	6.7%	3.3%	30	2.5%
関西	3.4%	6.9%	3.4%	6.9%	3.4%	29	5.2%
中国	6.1%	12.1%	3.0%	6.1%	6.1%	33	6.8%
九州	7.0%	16.3%	9.3%	16.3%	7.0%	43	12.2%
北陸	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	17	1.5%
四国	9.1%	36.4%	9.1%	54.5%	0.0%	11	27.3%
全国	5.6%	10.9%	5.3%	10.6%	5.6%	284	7.6%



### 単組別休日取得率(合材)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	組合員数	平均	振休加算	振替取得
大林	37.9%	46.6%	44.7%	50.5%	47.6%	103	45.4%	47.8%	4.3%
大成	46.8%	43.5%	45.2%	53.2%	35.5%	62	44.8%	50.0%	9.4%
東舗	22.2%	55.6%	55.6%	55.6%	33.3%	9	44.4%	44.4%	0.0%
NIPPO	51.0%	61.9%	57.8%	66.0%	57.1%	147	58.8%	64.2%	13.2%
前田	41.5%	59.2%	57.8%	61.8%	51.6%	434	54.4%	63.4%	19.8%
三住	66.7%	84.8%	60.6%	90.9%	54.5%	33	71.5%	85.5%	48.9%
全社	44.0%	57.9%	55.2%	61.5%	50.8%	788	53.9%	61.2%	15.8%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した割合

### 地域別組合員休日取得率(合材)

	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	組合員数	平均	振休加算	振替取得
北海道	33.3%	51.9%	51.9%	55.6%	25.9%	27	43.7%	46.7%	5.3%
東北	37.0%	59.3%	43.2%	56.8%	40.7%	81	49.1%	53.6%	11.7%
関東	45.9%	53.8%	53.8%	60.7%	49.3%	290	53.5%	57.7%	10.6%
中部	37.6%	66.1%	64.2%	58.7%	53.2%	109	56.7%	62.6%	15.0%
関西	55.6%	55.6%	69.1%	67.9%	67.9%	81	62.0%	70.4%	19.5%
中国	60.0%	74.3%	71.4%	70.0%	65.7%	70	68.9%	82.3%	44.1%
九州	38.8%	54.1%	43.5%	60.0%	47.1%	85	49.1%	61.9%	25.7%
北陸	23.8%	57.1%	42.9%	52.4%	47.6%	21	44.0%	56.2%	20.7%
四国	41.7%	54.2%	37.5%	79.2%	37.5%	24	53.1%	52.5%	5.0%
全国	44.0%	57.9%	55.2%	61.5%	50.8%	788	53.9%	61.2%	15.8%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した率

製品部門の状況は、まず閉所率において、第 2 土曜日閉所をしっかりと意識していた、ということが結果から窺えます。第 4 週は祝日であったことを差し引いても、第 2 土曜日の閉所率が他の週よりも高いのは、その証左ではないでしょうか。東北・中国・九州の各地区でそれは顕著になっています。また、三井建道路が徹底して取り組んでいることがとても伝わってきます。逆を言えば、他の企業や組合から何かしら指示はしているのかもしれませんが、現場まで伝わっていない、具体的な対策を取れないでいる、組合員がその気になっていない、ということが言えます。

休日取得に目を向けてみますと、これも工事部門との比較でよく出てくることではありますが、振替休日の取得について製品部門は比較的取りやすい環境にあるのは数値から言えます。もちろん地域的な問題や各社それぞれの体制があるのは承知の上ですが、仕組みからすると高く数値が出るのは当然です。しかしながら、職種によってはそうでないこともあり、長期休暇時にはメンテナンスで出勤しなければいけないことや、工事が集中してきたときの試験書類関係作成・提出が多忙を極めることなどに対して、各社・各工場がどこまで対応し切れているのか気になります。

一部で聞かれる「工事があるから合材を出す」「合材が出るから工程を入れる」という無駄な話は脇に置いて、如何に振替休日を取る策をたてるかを考えてみましょう。

## ●土曜日閉所出来なかった理由

- |                              |                                 |
|------------------------------|---------------------------------|
| ①土曜日指定の工事・出荷があるため。           | ⑦制度上休みではないため。                   |
| ②営業打合せ、作業打合せなど得意先からの要請があるため。 | ⑧職場に休みにくい雰囲気があるため。              |
| ③下請け・作業員の作業に立ち会う必要があるため。     | ⑨年間を通じた交代制などで休日を確保しているため。       |
| ④天候などの影響により工期が遅れているため。       | ⑩顧客への提出書類(見積書、工事書類等)作成の内業があるため。 |
| ⑤もともと工期に余裕がないため。             | ⑪社内書類(月次書類等)作成の内業があるため。         |
| ⑥配置人員が少なく、業務量に追いつかないため。      | ⑫その他(回答欄記述)                     |

1位
2位
3位

理由	11月2日				11月9日				11月16日				11月23日				11月30日			
	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他
①	30.9%	16.9%	61.8%	29.1%	30.9%	16.9%	64.3%	25.0%	30.5%	17.4%	62.0%	19.7%	31.5%	17.9%	64.9%	20.3%	31.4%	18.2%	62.5%	22.8%
②	8.0%	8.7%	7.1%	3.6%	7.8%	8.5%	6.3%	6.7%	7.8%	8.0%	7.3%	7.6%	7.6%	7.3%	7.6%	10.9%	7.5%	7.8%	7.0%	7.0%
③	12.5%	17.0%	3.2%	9.1%	13.4%	17.6%	4.9%	8.3%	13.6%	18.5%	3.3%	12.1%	13.3%	17.7%	3.8%	10.9%	12.5%	17.0%	3.3%	8.8%
④	4.8%	6.2%	2.3%	1.8%	5.6%	7.0%	3.5%	0.0%	5.5%	7.0%	3.0%	1.5%	5.6%	7.3%	2.1%	3.1%	5.5%	7.5%	2.0%	1.8%
⑤	12.7%	18.0%	1.6%	9.1%	13.6%	19.0%	2.1%	10.0%	13.2%	18.6%	2.3%	7.6%	13.0%	18.3%	2.4%	6.3%	13.1%	18.2%	2.3%	10.5%
⑥	12.8%	16.4%	4.9%	12.7%	13.3%	17.2%	4.9%	11.7%	13.9%	18.3%	4.3%	13.6%	14.4%	18.6%	5.6%	10.9%	13.0%	16.9%	5.0%	10.5%
⑦	4.9%	3.6%	7.8%	5.5%	1.5%	0.9%	2.4%	3.3%	2.3%	1.0%	4.6%	4.5%	1.7%	0.9%	2.8%	4.7%	1.9%	0.9%	4.0%	3.5%
⑧	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	1.8%
⑨	2.2%	0.7%	5.5%	1.8%	2.5%	1.1%	5.9%	1.7%	2.6%	0.9%	6.6%	1.5%	2.2%	0.8%	5.6%	1.6%	2.2%	0.7%	5.6%	1.8%
⑩	4.8%	5.8%	1.9%	9.1%	6.1%	7.6%	2.1%	8.3%	5.3%	6.1%	2.6%	9.1%	6.4%	7.6%	2.1%	12.5%	6.4%	8.1%	2.3%	8.8%
⑪	5.2%	5.6%	2.3%	16.4%	3.5%	3.2%	1.4%	16.7%	3.2%	3.0%	1.7%	12.1%	2.8%	2.6%	1.0%	12.5%	4.3%	3.6%	3.7%	15.8%
⑫	1.2%	0.9%	1.6%	1.8%	1.7%	0.9%	2.1%	8.3%	2.0%	1.0%	2.3%	10.6%	1.5%	0.8%	2.1%	6.3%	1.8%	1.0%	2.3%	7.0%

1位
2位
3位

< 昨年実績 >

理由	11月3日				11月10日				11月17日				11月24日			
	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他
①	32.4%	21.9%	58.9%	18.8%	29.2%	17.2%	59.1%	14.0%	27.6%	15.9%	56.0%	13.0%	30.1%	18.4%	59.3%	15.9%
②	9.6%	10.2%	8.1%	10.4%	10.4%	11.6%	7.3%	12.0%	8.9%	9.2%	7.6%	11.1%	8.2%	8.3%	7.1%	13.6%
③	11.5%	14.0%	5.9%	10.4%	12.0%	14.7%	6.6%	8.0%	10.7%	13.2%	5.8%	7.4%	11.9%	14.7%	6.3%	6.8%
④	5.9%	7.3%	3.3%	2.1%	7.2%	8.4%	5.4%	2.0%	7.1%	9.0%	4.0%	1.9%	7.1%	8.3%	5.1%	2.3%
⑤	13.3%	18.7%	1.1%	12.5%	14.2%	19.6%	1.5%	16.0%	14.1%	20.1%	1.1%	14.8%	15.2%	21.2%	1.2%	15.9%
⑥	10.9%	13.5%	4.1%	14.6%	13.5%	17.4%	3.9%	18.0%	13.0%	17.1%	3.6%	14.8%	13.3%	17.1%	4.0%	18.2%
⑦	2.2%	1.8%	3.7%	0.0%	1.7%	0.9%	3.9%	0.0%	5.7%	5.2%	7.6%	1.9%	1.4%	0.7%	3.2%	0.0%
⑧	0.3%	0.3%	0.0%	2.1%	0.4%	0.5%	0.0%	2.0%	0.3%	0.3%	0.0%	1.9%	0.5%	0.5%	0.0%	2.3%
⑨	2.1%	0.6%	5.9%	0.0%	2.1%	0.5%	6.2%	0.0%	2.8%	0.8%	7.6%	0.0%	2.7%	0.9%	7.5%	0.0%
⑩	4.6%	5.6%	1.1%	10.4%	4.9%	6.0%	1.9%	8.0%	5.5%	6.5%	1.8%	13.0%	5.8%	6.7%	3.2%	9.1%
⑪	5.5%	5.2%	5.9%	8.3%	3.0%	2.7%	1.5%	14.0%	2.3%	1.8%	1.8%	9.3%	2.2%	2.1%	0.4%	13.6%
⑫	1.6%	0.8%	1.9%	10.4%	1.5%	0.5%	2.7%	6.0%	1.9%	0.7%	2.9%	11.1%	1.7%	1.2%	2.8%	2.3%

●休日取得や時短を進めるために今後望まれる点

1位
2位
3位

<望む点>

<今回調査>

<昨年度>

	全体	工事	合材	支店他		全体	工事	合材	支店他
①適正な人員配置	28.6%	29.8%	23.1%	33.1%	①	18.7%	20.4%	14.2%	17.6%
②社外書類の削減	6.1%	7.9%	2.3%	4.9%	②	7.6%	10.0%	2.5%	3.8%
③社内書類の削減	8.3%	8.7%	6.7%	9.4%	③	9.0%	9.2%	7.4%	11.0%
④上位者からの指示・指導	8.1%	7.8%	6.5%	12.0%	④	9.0%	8.2%	6.0%	18.6%
⑤職場の話し合い	7.3%	6.8%	8.2%	7.9%	⑤	8.5%	7.9%	7.9%	13.3%
⑥協力会社の育成	8.9%	10.5%	6.9%	5.3%	⑥	11.6%	14.1%	7.9%	4.8%
⑦業界全体による得意先に対する土曜休工の要請	32.7%	28.4%	46.2%	27.4%	⑦	35.5%	30.2%	54.2%	31.0%

閉所出来なかった理由として、工事部門と製品部門の理由に明らかな違いが出てきました。これは昨年から見られ始めた傾向ではありますが、工事部門においてはまず「もともと工期に余裕が無い」ということ。そして今回初めて第4土曜日の祝日にて「配置人員が少なく、業務量に追いつかない」ことが一番の理由となりました。この二つの項目に共通して言えることは、自部門の消化能力と手持ちの仕事量との差が上手くマッチしていない、ということではないでしょうか。ノルマやマーケット環境の違いもありますが、受注環境が上向きの中、それぞれの思惑の中で無理をせざるを得ない状況があるのでしょうか。月末に「土曜日指定の工事があるため」が一番の理由になっているのは、そういった自部門の都合上、内的要因によって出勤になった可能性もゼロではないと考えられます。製品部門においては、一貫して「土曜日指定の出荷があるため」土曜日は閉所出来ない、ということです。日合協でも閉所よりも計画的連続休暇取得に力を入れているので、製品部門については今後連休取得状況に目を向けた調査が必要ですが、こちらは日合協が定期的にアンケートを行っており、日合協と情報の共有を進め今後を検討していきたいと思えます。ただ、製品部門に特徴的なのは、「社内書類（月次書類等）作成の内業があるため」に土曜日出勤の理由となっている点です。月次書類について土曜日出勤してまで提出しなければいけないものがあるのでしょうか。まずはこの改善を進めるべきではないでしょうか。当然仕事量の増加に伴って出荷量も増えれば、いろいろと得意先等へ出さなければいけない書類も得意先ごとにあるとは思いますが、社内向けの書類も一緒に増えるのは疑問です。各企業・単組は検討する必要があります。

今後望まれる点については毎回傾向に変化はないのですが、工事部門で「適正な人員配置」がトップに came up。前述のように、仕事量が増えたにも関わらず人員は変わらず、

しかしながらノルマや売り上げ目標が上乘せされれば、当然見目で人員不足は感じるところです。もちろん企業は売上を伸ばすこと、利益を出すこと、株主へ還元することが大前提ではありますが、そこで従業員を蚊帳の外へ置いておくことにより従業員・組合員がモチベーションを落とし、生産性までも落としてしまったらどうになってしまうのかをもう少し考えるべきです。組合員は自らの仕事を遵法の基に全うし、効率を上げ成果を生み出し、適正な事業運営の一端を担う義務を有していますが、その環境を整えるのは企業の役割でもあります。道建協も日合協も次世代人材確保の観点から、休日取得をはじめとする労働環境の改善に力を入れたのですから、その会員である各企業はさらにそれに向けて真摯に取り組むべきでしょう。

製品部門においては「適正な人員配置」のポイントが上がりましたが、ローテーションで休みを組むにも、そもそもの人員が足りない事業所も多く、そうした面での増加と言えるかもしれません。気になるのは、土曜日閉所出来なかった理由として「社内書類（月次書類等）作成の内業があるため」が上位に姿を見せていたにもかかわらず、「社内書類の削減」のポイントがそれほど高くないことです。この作業に改善のポイントを見つけられずにいるかもしれませんし、出すのが当然の書類だと考えている方が多いのかもしれません。一度検討して見てはいかがでしょうか。もっとも望まれている「業界全体による得意先に対する土曜休工の要請」について、日合協東北連合会では他に先んじて取り組んでいただいています。その結果東北地区での第2土曜日閉所は他の地域よりも進んでいるのかもしれませんが、こうした取り組みは今後も水平展開していただけるようにこちらからも重ねてお願いをしていきます。また、工期の問題は発注の仕方などと併せて道建協から国交省等へ改善の要請がなされており、今後は道建協と情報交換を進めながらその中で現場の声を伝えていきます。

意見欄を見ると、「目に見える結果を出してくれ」や「無駄だ」という言葉をいただきます。なかなか目に見える結果を皆さんに提供できていないかもしれませんし、現状だと何も期待させるものを感じてもらっていないのかもしれません。ただ、こちらから皆さんにお願いしたいのは、自ら閉所や休日取得に対して取り組んでみてほしい、ということです。どこか他人事のように思っている組合員の方がとても多いのではないのでしょうか。当事者意識の無い所では、何も動き出しません。キチンと取り組んでいただいているところからは前向きな話が出ていますし、具体的な改善策やそれに向けた話し合いが進められているように感じます。

この時期北海道や東北、北陸地区が繁忙期であることや、全体的に人員が少ないことは誰の目にも明らかです。そこで捻り出す知恵や工夫がこの業界の魅力をもっとアピールできるものとなるよう一緒に取り組んでいきたいと考えています。

今回もアンケートにご協力いただいた組合員の皆様には感謝申し上げます。土曜日の休日取得が普通であり、労働環境が改善され、業界の魅力がよりアップするように今後も取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。